

① 語る言葉の内容から

- ・「罰が当たっている」などと言う。
- ・「霊がとり憑いている。お払いをしなければいけない」などと言う。
- ・「水子が祟っている。水子供養をしなければいけない」などと言う。
- ・「先祖が地獄に堕ちて苦しんでいるために、子孫にいろいろな悪いことが起こっている」などと言う。
- ・「問題の解決には、特別な先祖供養が必要である」などと言う。
- ・「霊の障り（霊障）がある」などと言う。
- ・「方角が悪い」「星回りが悪い」など、占いじみたことを言う。
- ・「あなたには何か悪いこと（不吉なこと）が起こるような運命がある」とか、「このままだと、きっと家族の誰かが病気になる」など、不安を与えるようなことを言う。
- ・将来について、予知じみたことを言う。
- ・「あなたの背後霊は誰々である」などと背後霊の指摘をする。
- ・「あなたの前世は誰々で、どんなことをしてきた」などと前世の指摘をする。
- ・「私があなただの悪い因縁を切つてあげましょう。あなたに代

わつて私が祈つて解決してあげましょう。私が霊障を取り除いてあげましょう」などと言う。

・あまりにも霊的真理からずれたことを言う。

ex. あなたは何十回も生まれ変わっています／あなたの前世は動物でした／あなたは立派な守護霊を付けなくてはいけません)

・世俗的、日常的なことを質問すると、すぐに答える。

・財運、運勢、未来の出来事、恋愛・結婚運などの質問に対して、不安を与えたり、逆に有頂天にさせて喜ばせるようなことを安易に言う。

以上、リストアップしたようなことを平気で口にするような霊能者は、低級霊に憑かれていると思つて間違ひありません。

霊能者が語る内容の間違ひやいい加減さは、皆さんが「霊的真理」をしっかりと知つていれば容易に判別できるはずで

近い未来の予知とか、死んだ家族のこと、身内のことを言い当てるのは、低級霊の得意とするところ

です。霊能者がそうしたことを正確に言い当てたからといって、驚いたり動揺してはなりません。

その程度のこと、低級霊に支配されたニセ霊能者であっても簡単にできるといふことを知つておくべきです。

低級霊はわざと部分的に本当のことを言つて地上の人間を信用させたり、また逆に不安に陥れたり、混乱させてからかったり、

イタズラをしようとしたりするのは。

② 態度・様子・雰囲気から

- ・周りの人々を威圧するような言い方をしたり、煙に巻くような言い方をする。
- ・態度が尊大・傲慢であり、謙虚さからほど遠い。また雰囲気が高圧的で、一方的に周りの人々に命令調で話をする。
- ・自分自身の背後霊が誰々であるとか、自分の前世は誰々で、何をしていたなどと自慢する。(その大半は作り話であるが)
- ・今まで自分がしてきた修行を自慢する。(〇× 荒行・断食行)
- それによって、さも自分の霊性が高いかのように誇示しようとする。
- ・自分の答えに対して質問をされると怒りだす。「自分の言うことを無条件に信じよ」という態度を取る。
- ・自分の感情をコントロールできず、すぐに怒ったり、絶えずイライラして落ち着かない。
- ・言うことがコロコロと変わって、先程(以前)の話と全く矛盾したことを平気で言う。

ここに挙げたような態度・様子・雰囲気が見られる霊能者は、完全に低級霊に翻弄されていると言ってよいでしょう。

そうした者には初めから近づかないようにすべきです。

仰々しいお祈りをしたり、霊にお伺いを立てるなどと称して、

気違いじみた読経をしたりするような霊能者も同様です。

また権威付けのために特別な服装をしたり、祈祷室に多くの崇拜物・仏像・掛け軸などを並べているような霊能者の大半も、低級霊に翻弄されていると思って間違いありません。

スピリチュアリズム・サークル 心の道場

スピリチュアリズム・ニューズレター 第8号